

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月15日

計画の名称	快適生活と水と緑をつなぐ下水道（第2期）（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	東久留米市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心なくらしの実現を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	616	A	616	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道による浸水対策達成率を29.8%（H28）から31.6%（H32）に増加させる。 下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	29%	30%	31%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H28-H29 快適生活と水と緑をつなぐ下水道（第2期）（防災・安全）にて同事業を実施、全体事業費用106.9百万円、整備延長485m												

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

令和3年3月30日付国官会第28956号通知に基づき、学識経験者への資料提供及び意見聴取による評価において実施

事後評価の実施時期

令和3年12月1日

公表の方法

東久留米市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

(事業番号A07-001) 浸水対策達成率が増加したことにより、冠水被害の軽減が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況 (必要に応じて記述)

○特記事項 (今後の方針等)

引き続き冠水被害解消に向けて、計画的な雨水整備に努め、安心・安全なまちづくりに取り組んで行く。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	
	最終目標値	31%
	最終実績値	31%